

市民病院だより

大崎市民病院理念・基本方針

【病院理念】
～市民が安心できる医療の提供～

【基本方針】
市民に適切な医療の提供
地域に貢献する医療の構築
健全経営の確保



切れ目のない医療の提供を目指して～地域の医療機関と繋がる取組～



▲登録医のつどいの様子



▲神波副院長



▲清水認知症センター部長

令和3年10月27日大崎市民病院「登録医のつどい」を開催しました。当日は、コロナ禍での開催ということもあり、オンラインによるリモートも含めて登録医療機関の先生方47人が参加されました。研修会では当院医師の神波力也副院長から「コロナ禍で見えてきた地域医療」と清水洋認知症センター部長から「当院認知症センターの紹介」について講演を行った後、登録医の先生方と一層の連携を深めるため意見を交換し、地域医療の発展や認知症医療の均てん化のについて理解を深めました。

当院では、患者さんが住み慣れた地域で切れ目のない支援を受けれるように、地域の医療機関全体で健康管理から社会復帰までを一貫してサポートする「地域完結型医療」を目指しています。そのため、医師や看護師、地域医療連携室が中心となり、地域の医療機関の先生等に対し登録医制度（※）を運用し情報発信や研修会、意見交換などを行い、その一環として登録医のつどいを毎年開催しています。

今後も、本制度等を活用しつつ、登録医の先生方と連携を図り、地域全体の医療の質向上に努めていきます。

※登録医制度とは

当院と地域の医療機関が相互に協力し、地域全体の医療の質向上と充実を図ることを目的とした制度です。



「医療機器のスペシャリスト」 臨床工学技士の仕事

生命維持管理装置の操作や保守点検など、命を支える大切な医療機器の管理を行っているのが臨床工学技士です。

大崎市民病院では、安心できる医療を提供できるよう24時間365日体制での対応や、2年間で全ての業務を経験する新人教育などを行い、急性期医療を担う一員として日々患者さんの命と向き合っています。

当院の臨床工学部は以下の4部門を配置し業務を行っています。

【血液浄化部門】

27床ある透析センターでの、透析機器の点検や操作を行います。透析は長時間を要しますが、安全に治療が進められるように業務にあたっています。

【循環器部門】

心臓カテーテル室で検査・治療の際に使用される機器の準備や操作を行っています。また、ペースメーカー外来にてペースメーカーのチェックも行っており、入院患者や緊急時の対応にも駆けつけます。

【手術支援部門】

手術室では、多種多様な医療機器を同時に複数台も使用するため、その準備や操作を行っています。

また、心臓血管外科の手術で使用する人工心肺装置の操作など、手術室に入り、医師のサポートを行う場合もあります。



▲心臓血管外科手術の様子

【機器管理部門】

人工呼吸器や血液浄化装置などの医療機器を管理しており、その数なんと約3300台もあります。

機器トラブルを未然に防ぎ、安全に使用できるように日々の点検や修理をしています。また、コロナ禍においては、機器の消毒を徹底しています。

このユニフォームが目印！

臨床工学技士のユニフォームは青がベースで両サイドに紺のラインが入っているのが特徴です！



両サイドに紺のラインが入ります！



人工呼吸器の動作確認をしています！

▲機器の動作確認をしている様子

医療ソーシャルワーカー ～私たちにご相談ください！～

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）のユニフォームは上はネイビー、下はベージュと院内でも珍しい色合いです。女性のユニフォームには襟や袖に黄色のラインが入っています。

入院患者さん及び外来患者さんの社会的・心理的な問題解決のサポートが出来るように面談や調整を実施しています。急な入院や病気で不安な事やご不明点等ありましたらお気軽にご相談ください。



医療ソーシャルワーカー

男女で襟の形が違います！

病院事業職員のユニフォーム を紹介します

病院事業では、様々な職種の職員が市民が安心できる医療の提供のため働いています。今回は機能やデザインにもこだわった3部門のユニフォームを紹介します。

薬剤師～薬の専門家～

薬剤部のユニフォームは青がベイスのVネックが特徴的です。胸元や脇腹付近にポケットが付いており、多機能な面も持ち合わせています。

薬剤師は外来や病棟に配置され、薬を通して患者さんの支援をしています。

院外処方を受けている方は、かかりつけ薬局と身近な薬剤師を作られることは大事です。また、過去の服薬状況を確認するため重要となるお薬手帳をお持ちください。お薬のことでお困りの際はお気軽にご相談ください。



薬剤師

青に黒のラインが入ってます！

下は紺色です！

上下グレーで統一されています！

今回のユニフォーム紹介はいかがだったでしょうか。何かお困りの際は、今回紹介したユニフォームを目印にお気軽にご相談ください。また、他にも様々なデザインのユニフォームを着た職員がいますので、来院の際に見つけてみてください。



診療放射線技師

放射線技師 ～画像撮影のプロフェッショナル～

放射線部のスタッフは全身グレーのユニフォームで統一しています。ユニフォームには何か所かベルトが付いており、CTやMRI、血管造影の撮影時に被曝量を記録するバッチを身につけています。最小の被曝量で最大の結果を得られるように日々撮影技術を磨いています。

患撮影時に不安などがある場合は、遠慮せずスタッフに声をかけてください。

さまざまな災害に対応するため、 多重事故対応訓練に参加しました。

令和3年1月19日に東北自動車道で発生した多重事故を教訓とし、関係機関と連携を深め、相互の活動内容の把握により、顔の見える関係の構築を図ることを目的に訓練に参加しました。

令和3年10月29日と同年11月19日に実施されたNEXCO東日本や大崎消防本部主催の訓練に参加し、事故車輛や模擬傷病者を配置するなど当時の事故状況を再現した訓練となりました。

2つの訓練では、地吹雪による視界不良下を想定し、事故現場に消防車輛を使用した指揮本部や救護所を設置し、被害状況の把握や傷病者のトリアージと応急的な治療の実施、傷病者の搬送までの行動や手順を確認しました。また、訓練終了後参加者による意見交換を行うことと関係機関の更なる連携強化を図ることができました。



▲訓練の様子

本訓練で挙げられた課題を持ち帰り、災害発生後の初動対応及びトリアージエリアの設置や外来休診の判断、傷病者の受入体制の確立など多様化する災害に対応するため、院内の災害訓練に活かしながら地域災害拠点病院としての役割を推進していきます。

古川中学校の生徒から 心温まるご支援をいただきました

大崎市民病院の新型コロナウイルス感染症対応に
対して、古川中学校の福祉委員会から福祉活動の一
環として、生徒たちが作成した千羽鶴や募金活動で
集めた支援金をいただきました。

千羽鶴は当院1階ほなみホールに飾ってあります
ので、来院の際はぜひご覧ください。また支援金は
感染対策に有効活用します。

このような心温まるご支援や応援してくださる皆
さまの期待に応えられるよう、職員一人ひとりが安
心安全な医療を提供できるよう努めてまいりますの
で、今後ともよろしくお願いいたします。



▲寄附受納式の様子

アンケートにご協力ください

当院では、病院の医療機能や取組み等をこ
ろ理解いただくため、広報誌「市民病院だより」
を発行しています。今後の誌面づくりの参考
にさせていただきます。皆さまのご意見をお
寄せください。方法…下記QRコードを読
取り、専用サイトからご回答をお願いします。



▲バック
ナンバー



▲アンケート

市民病院だより No. 23 2022年1月発行【年4回発行】

編集・発行

大崎市民病院 経営管理部経営企画課 ☎ 0229-23-3311 (内線 3705)

〒989-6183 大崎市古川穂波三丁目8番1号

Web <http://www.h-osaki.jp> E-Mail kikaku@h-osaki.jp

